

ナニワトンボ

Sympetrum gracile

兵庫県：要注目

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

腹長20～23mm、後翅長23～27mm程度。♀及び未熟な♂は黒色に淡黄色斑を有するが、成熟した♂は黒化して全身に青灰食の粉を帯びる。平地から丘陵地にある、秋に水位が低下し、周囲に樹林があるため池などに生息し、幼虫は水深の浅い部分の植物の根際などに潜んでいる。成虫は6月～11月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、太子町、上郡町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		

特記事項

Cランクから要注目種へ変更

この10年各地での発見例が続いており、発見場所の増加傾向が見られる。また池の水を秋季に落とすため池管理が現在県下各地で行われており、その生息環境も増加している。個体数には年変動が見られるものの、現状は生息基盤が脆弱になっているとは言えない。しかし全国的に見ると減少傾向があるようで、県内の個体群を注意して見守っていく必要がある。

保護上の留意点